

平成 29 年度災害ボランティアコーディネーター養成研修 運営者【基礎】研修の開催 ～社協が担う災害ボランティアセンターの役割を考える～

近年、大規模な自然災害が発生すれば、社協が災害ボランティアセンターを設置し、多様な支援団体等と協力して運営するとともに、行政、地域団体、NPO等と連携し、被災者の生活支援までも視野に入れた活動が求められています。

今回の研修は、全国の被災地で災害ボランティアセンターの設置運営を中心とした支援活動を行っている、にいがた災害ボランティアネットワーク 理事長 李 仁鉄 氏によるコーディネートのもと、熊本地震で最も被害が大きかった益城町から益城町社会福祉協議会 事務局次長 緒方 誠 氏を迎え、①社協が担うボランティアセンターの役割と仕組み・運営方法の基礎を学ぶとともに、②熊本地震を踏まえ、災害ボランティアセンターの役割の変化や生活支援を視野に入れた担い手のあり方、手法などの全体像を考えます。

記

- 1 日 時 平成 29 年 7 月 24 日(月) 10:30～16:30
- 2 場 所 神戸クリスタルタワー 3 階 クリスタルホール (神戸市中央区東川崎町 1-1-3)
- 3 対象者
 - ① 市区町社協事務局長・次長
(災害時にセンターの立ち上げ・運営の意思決定をする立場にある者)
 - ② 地域福祉・ボランティアセンター担当部署職員、ボランティアコーディネーター
 - ③ 市区町社協地域福祉・ボランティアセンター担当部署以外で、ボランティアセンターの立ち上げに関わる職員で支援活動未経験者
 - ④ 中間支援NPO
- 4 内 容 ファシリテーター：にいがた災害ボランティアネットワーク理事長 李 仁鉄 氏
 - (1) 講義①
社協が担うボランティアセンターの役割と仕組み・運営方法について
にいがた災害ボランティアネットワーク 理事長 李 仁鉄 氏
 - (2) 講義②
・災害発生 of 初期段階について
・益城町災害ボランティアセンターの立ち上げから運営、ニーズキャッチに関して苦労した内容、課題などについて
益城町社会福祉協議会 事務局次長 緒方 誠 氏
 - (3) トークセッション
にいがた災害ボランティアネットワーク 理事長 李 仁鉄 氏
益城町社会福祉協議会 事務局次長 緒方 誠 氏
被災地NGO協働センター 代表 頼政 良太 氏
 - (4) グループワーク (事例研究)
コーディネーター：被災地NGO協働センター 代表 頼政 良太 氏
県内市町社会福祉協議会 職員 (3名)